



2025年6月5日
No.4

<染物体験をしました>

3日(火)に、くま組が染物体験をしました。今年も地域にお住いの大西香菜子先生(この園の卒園児です)に来ていただいて、染め方を教えてもらいました。事前の準備として、布の半分は豆乳で絵を描き、もう半分は輪ゴムで絞りました。豆乳で絵を描くと聞いて、子どもたちはビックリしていましたよ。染めたら、どんな色になるのか、どんな模様になるのか、楽しみにしていました。今回、布を染めるのに使ったのは“玉ねぎの皮”です。



講師の大西香菜子先生。「“かなっち”って呼んでね」ということで、この場では「かなっち〜!」と呼んでいた子どもたちでしたが、後で「何て呼んでって言ってた?」と尋ねると「そめっち!!」とっていました。【香菜子】と【染め物】が混ざってしまいました…(笑)



①玉ねぎの皮を煮る。液の色は茶色。「しょうゆみたいや!」と言う子が多かったです。



②布を水に入れてぬらした後、絞る。



③玉ねぎの皮を煮だした液に布を入れる。布の端っこを持って、そ〜っと入れました。

④布をしばらく液に漬けたままにする。肌寒い日だったので、布が漬けてある液に手をかざして、「あったか〜い♡」と、暖をとっていました。



⑥洗う。大人が洗った後、仕上げに子どもたちも洗いました。



⑦輪ゴムをはずす。しっかり模様が出るように固く結んだので「かたい!」「もう!なんではずれへんの!!」と、ブツブツ文句を言いながらも、模様が見えるのを楽しみに、がんばってはずしていましたよ。

⑤“魔法の液(定着液)”に布を入れて、割りばしでつついて、しっかり染み込むようにする。魔法の液に入ると、薄い茶色っぽかった布が鮮やかな黄色に変わり、「いろがかわった〜!すごい!!」と驚いていました。



⑧できあがり。輪ゴムをはずすと模様が見えてきて「すご〜い!」「かっこいい〜!」と大喜びでした。



布は、ナップザックにする予定です。